

世界的にも希少な温帯性針葉樹林

木曾 生物群集保護林

設定目的

当保護林に生育している天然生のヒノキやサワラ等を含む温帯性針葉樹林は、世界的にも希少であると言われています。

現存する温帯性針葉樹林の遺伝資源や森林生態系を、まとまりと連続性をもって保存するとともに、保護林内の人工林を天然林へと誘導することで、温帯性針葉樹林の復元も併せて実施しています。

また、「木曾悠久の森」の核心地域として、地元市町村や事業者、大学・研究機関、NPO、メディア等と連携・協働しつつ、モニタリングや取組のPRを進めています。

地況・林況

日本三大美林の一つである樹齢三〇〇年以上の木曾ヒノキの美林を中心に、木曾五木（ヒノキ、サワラ、アスナロ、コウヤマキ、ネズコ）が林立しており、その中にミズナラやホオノキ等の落葉広葉樹が生育しています。

所在地

長野県 木曾郡 王滝村、上松町、大桑村
岐阜県 中津川市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。